

# 宮城県復興まちづくり通信

Vol.17

平成26年11月発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室



## トピック

### 1. 見える復興・見せる復興への取組み



みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)

東日本大震災から3年半が経過し、県内では復興まちづくり事業がより本格化しています。沿岸15市町の最新の復興状況を写真やイメージパースなどで分かりやすく1枚にまとめた「みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)」の第3号(2014年秋・冬版)を作成しました。

当室では、沿岸市町における現在の復興の状況を幅広く情報提供するための取組みを進めており、当室ホームページのほか、15市町への配布、県庁関係部署、国土交通省、復興庁、県選出国會議員事務所、商業施設での掲示や県外で開催されるイベント等でも紹介しています。



三陸縦貫自動車道 春日PA



宮城県企業立地セミナー(名古屋)

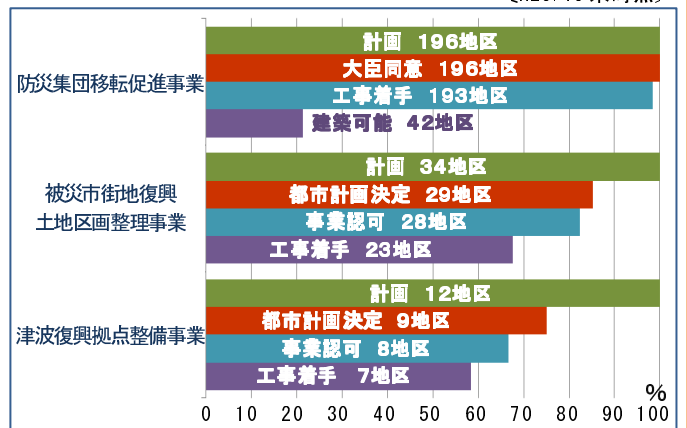
### 2. 復興まちづくり事業の進捗状況について

**防災集団移転促進事業**については、計画地区数196地区の全地区において事業計画の大臣同意を得ており、工事着手は193地区(約98%)、住宅等建築可能地区は42地区(約21%)となっています。

**被災市街地復興土地区画整理事業**については、計画地区数34地区のうち、29地区(約85%)で都市計画決定がなされ、事業認可は28地区(約82%)、工事着手は23地区(約68%)となっています。

**津波復興拠点整備事業**については、計画地区数12地区のうち、9地区(約75%)で都市計画決定がなされ、事業認可地区数は8地区(約67%)、工事着手は7地区(約58%)となっています。

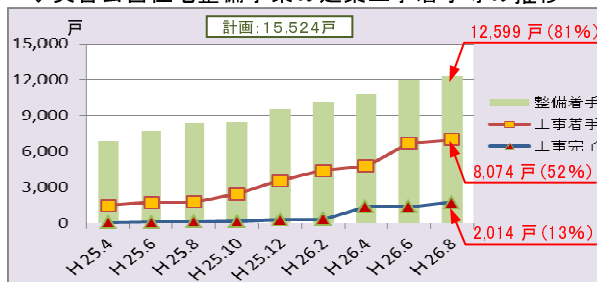
各事業の進捗状況 [H26.10末時点]



**災害公営住宅**は、現時点での整備計画戸数15,524戸のうち、21市町223地区、12,599戸に整備着手、うち21市町150地区8,074戸が建築工事に着手しており、16市町50地区で2,014戸が完成しています。

[H26.10末時点]

◇災害公営住宅整備事業の建築工事着手等の推移



多賀城市桜木地区の災害公営住宅

## 各地域の動き

東日本大震災からの3年半が過ぎ、全国の皆さまからの温かい御支援をいただき、県内各地において、復興まちづくり事業の槌音がさらに響くようになりました。宮城県の復興10か年計画の再生期の初年度である平成26年度の最近の県・各市町の取組みや復興まちづくり事業の進捗状況を紹介します。

- 宮城県震災復興計画
- 宮城県社会資本再生・復興計画

復旧期  
H23～H25  
3年間

再生期  
H26～H29  
4年間

発展期  
H30～H32  
3年間

宮城県の復興



魚町・南町土地区画整理事業着工式



閑上地区土地区画整理事業起工式



八幡地区津波復興拠点事業安全祈願祭



新蛇田団地供給開始式



東矢本駅北災害公営住宅引き渡し式

10月

- **10月 8日 気仙沼市魚町・南町地区土地区画整理事業が着工**  
魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業の着工式が現地で行われました。公共用地や商業用地が整備され、宅地や道路を嵩上げを行い、歴史と活気のあるまちづくりを目指し、気仙沼の顔を再生します。
- **10月15日 第10回復興交付金事業計画書を提出**  
沿岸部15市町と内陸部2市町の17市町から411事業、約2千億円(事業費ベース)が申請されました。
- **10月16日 第37回まちづくり拝見研修が開催**  
都市計画協会主催のまちづくり拝見研修が宮城県で行われ、被災市町の視察を行い、全国に宮城の復興状況を発信することができました。
- **10月17日 多賀城市桜木地区災害公営住宅 入居開始**  
多賀城市では初となる災害公営住宅が完成し、入居式が行われました。
- **10月20日 名取市閑上地区土地区画整理事業の起工式が開催**  
閑上地区土地区画整理事業の起工式が閑上公民館跡地で行われました。津波対策として地盤の嵩上げを行い、安全な現地再建を図ります。
- **10月20日 多賀城市八幡地区津波復興拠点の安全祈願祭が開催**  
製造業などが集積する工業団地が八幡一本柳地区に整備されます。企業用地のほか、公園や災害時に対応する備蓄倉庫も設置されます。
- **10月20日 気仙沼市階上長磯浜地区災害公営住宅が着工**  
市で計画する1戸建て・長屋タイプでは、初めての着工式となりました。
- **10月22日 女川町野々浜地区防災集団移転促進事業 造成完了**  
野々浜地区で造成工事が完了し、宅地の引き渡しが行われました。
- **10月28日 第2回復興まちづくり情報交換会の開催**  
復興まちづくりの担当職員を対象に情報交換会を開催しました。先進市町の事例や情報を共有し、市町同士の繋がりを深めることができました。
- **10月28日 石巻市下釜第一地区土地区画整理事業が着工**  
津波被害を受けた地区を高盛土道路で守り、住宅地等を復興します。
- **10月31日 復興まちづくりマップ2014年秋・冬版を作成公表**  
第3号目となる壁新聞を発行し、復興の情報発信に努めていきます。
- **10月31日 石巻市に国営による追悼・祈念施設設置が閣議決定**  
国・県・市が連携し、復興祈念公園が整備される予定となっています。

11月

- **11月 3日 石巻市新蛇田地区防災集団移転促進事業 宅地供給開始**  
県内では、最大となる防災集団移転団地となる新蛇田地区で宅地供給開始式が行われました。当地区は、利便性が高く、入居者は抽選で決まりました。
- **11月13日 利府町ゆのき地区災害公営住宅が完成**  
JR利府駅に近接した場所に整備された町内唯一の災害公営住宅です。
- **11月14日 東矢本駅北地区災害公営住宅(あおい住宅)入居式が開催**  
「あおい住宅」は、既成市街地とJR東矢本駅に隣接した被災市街地土地区画整理区域内に立地する市内最大規模の防災集団移転団地です。
- **11月15日 石巻市新渡波地区防災集団移転促進事業 宅地供給開始**  
新渡波地区で宅地供給開始式が行われ、宅地の引き渡しが開始しました。

## トピック

### 1. まちづくり拝見研修が宮城県で開催されました

公益財団法人都市計画協会が主催する「まちづくり拝見研修」は、全国の地方公共団体の都市計画やまちづくり行政に携わる職員を対象として、まちづくりに関するプロジェクトや施策をテーマとし、先進事例等の紹介、現地調査等を実施し、日常の業務の参考にしていただくことを目的としており、今回で第37回目を迎える研修です。

東日本大震災から3年半が経過した復興まちづくり事業への取り組みや進捗状況を肌で感じていただこうと宮城県で開催されました。

今年度の2回目となる「第37まちづくり拝見研修」は、平成26年10月16日～17日に開催し、『～復旧・再生からさらなる発展へ～「みやぎの復興まちづくり」』をテーマとし、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の講演を始め、名取市・岩沼市・東松島市・石巻市・女川町にて現地視察を行いました。参加者は、市町の担当職員からの説明に熱心に耳を傾け、多くの方々から「実際に復興に携わる職員からの現場の声を聞いて参考になった」との感想が寄せられました。全国から42名の参加者を得て、好評のうちに終了することができました。



石巻市「新蛇田地区」での説明状況



「みやぎ広報室」での講演の様子



女川町「復興まちづくり情報交流館」

## 市町からのたより

### 1. 女川町 防災集団移転促進事業「荒立東地区(第1期)」、「野々浜地区」の宅地造成工事が完了しました

女川町中心部の荒立東地区で進めている宅地造成の第1期7戸が平成26年9月1日に完了し、宅地引き渡しを行いました。

また、女川町離半島部野々浜地区の宅地造成6戸が平成26年10月22日に完了し、宅地引き渡しを行いました。

今年度中には、中心部の「内山地区」の宅地造成工事が完了する予定であり、防災集団移転促進事業による宅地造成が着々と進んでおります。今後も早期の生活再建、にぎわいの創出、産業の再生に向け、関係者一丸となって復興事業に取り組んでまいります。



女川町荒立東地区(上空より撮影)



女川町野々浜地区(上空より撮影)

女川町 復興推進課

### 2. 石巻市 災害公営住宅が「大須地区」、「桑浜地区」で完成しました

石巻市が進める災害公営住宅整備事業で、半島部で初めての災害公営住宅が雄勝町大須地区に1棟、同桑浜地区に2棟完成しました。3棟は、いずれも1戸建てタイプで、石巻市内で1戸建ての復興住宅が完成したのも初めてとなりました。

平成26年9月20日に桑浜地区の現地で開かれた完成式典では、ここで新しい生活をスタートさせる入居者の方々へ亀山市長から鍵が手渡されました。

高台に建てられた住宅には、内外装や設備などに住民の要望が取り入れられ、入居者は喜びを表していました。

内覧会では入居を検討している他地区の方々も訪れ、内装、間取りなどを確認し、住まい再建の参考にしていました。



石巻市雄勝町桑浜地区

石巻市 復興政策部 復興政策課

### 3. 塩竈市 錦町地区災害公営住宅が間もなく完成！

塩竈市内9か所（島嶼部を含む）に420戸の災害公営住宅を計画しており、うち戸建タイプの31戸（伊保石地区）は、今年1月に完成し、2月から入居を開始しています。

錦町地区では3棟計40戸の住宅建設が進んでおり、一部は年内に完成・入居を開始します。駅に近接し利便性が高いこの地区では、応募倍率が約3倍に及び、抽選会が行われました。

浦戸諸島では防災集団移転促進事業（2島）と併せ、4島で今年6月から建築工事に着工しており、年度内の完成を目指して作業を進めています。



工事が進む錦町地区の災害公営住宅

塩竈市 震災復興推進局 復興推進課 横田 陽子

### 4. 山元町 ～復興の花が咲き始めました～

山元町の新市街地整備工事が始まって、今年12月で1年半が経とうとしています。辺り一面が水田だったあの頃、本当にここに被災者の方々が笑顔で戻る日が来るのか？と不安を感じながら、でも必ず笑顔の花を咲かすんだ！との思いで頑張って今に至りました。

現在、新山下駅・新坂元駅周辺両地区の新市街地では、たけのこが伸びるように災害公営住宅が毎日姿を変えながら建ち続けています。1日でも早く被災者の方々が仮設住宅での不便な生活から再建され、また町外にお住いの方が、山元町に戻って来られるように、職員一丸となって頑張ります。山元町では避難路整備や農業基盤整備など町内のいたる所で復興事業が続いています。どこよりも魅力ある町、みんなが住み続けたい町に変えていこうとしていることです。

有志一同で、今年8月下旬に植えたゆりの花500本がこれから満開となります。また、来年4月には、3,000本のチューリップを咲かせる予定です。是非、山元町を訪れて下さい。

山元町 震災復興整備課 楠瀬 秀樹（京都府京都市派遣）



役場敷地内に設置された花壇

## ◇ 県復興まちづくり推進室の取組み

### 1. 平成26年度 第2回 復興まちづくり情報交換会の開催について

復興まちづくり推進室では、復興まちづくりを担当する市町職員、県担当職員を対象とした情報交換会を平成26年10月28日～29日の2日間にわたり開催しました。

復興庁宮城復興局、独立行政法人都市再生機構や県庁内関係課室からの情報提供、市町からの復興への取組みなどが紹介されました。

また、今回は沿岸市町の復興が進む中で、現在市町が抱えている課題を抽出し、話し合うことにより、課題の要因、背景を探し出し、今後市町が進める復興業務の中で発生する問題に対し、課題解決の一因となるようにグループ討議を行いました。討議のテーマは、①産業、商業誘導、②移転元地利活用（グループ数：2）、③住民との合意形成とし、4つのグループに分かれて討議を行い、活発な意見が出され、新たな視点や情報の共有が成され、有意義なものとなりました。

開催内容については、復興まちづくり推進室ホームページで、ご覧になれます。



グループ討議後の発表の様子

○問い合わせ先 宮城県土木部復興まちづくり推進室  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
TEL.022(211)3207 FAX.022(211)3295  
e-mail [fukumachi@pref.miyagi.jp](mailto:fukumachi@pref.miyagi.jp)  
HP <http://www.pref.miyagi.jp/fukumachi/>

復興加速



復興実感

がんばるっちゃ！  
宮城県土木部